

イノシシやニホンザル、ハクビシン、カラスなど、人が育てた作物を食べてしまう動物がいます。

特にイノシシは、一度に4〜5頭の子を産むなど数が増えやすく、1年間の捕獲数はここ10年間に約20倍にもなりました。水田に入らないよ

うに電気柵を作ったり、わなを仕掛けて捕まえたり、農業被害を減らすために、さまざまな工夫をしています。

## 15日 生態学ふいイベント

ねいの里では、人と動物の間で起きている問題や被害対策について紹介しており、はく製などで動物の大きさを確認できます。15日にはイ

右の写真はイノシシ。下は大勢の人でにぎわった昨年の行事



ベント「冬の生き物観察と動物の恵みに感謝」を行います。イノシシやニホンジカなどの生活の様子や体の仕組みを学ぶと共に、肉を味わってもらいます。意外な発見があるかもしれませんよ。是非、参加してください。(間宮寿頼)